



## 春号「今大切な事とは？」

平素は格別のご贔屓にあずかり、お世話になりまして誠にありがとうございます。



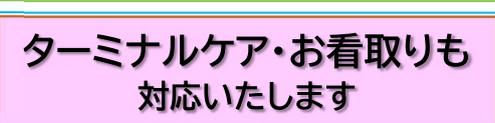
4月1日にネットワーク訪問ナースステーションは3人の新入社員を迎えました。看護師経験1年から訪問看護ベテランの看護師と幅広い年代で、リフレッシュしました。大手さんとは違い、小さな事業所だからできることを喜びとして、訪問看護の役割や貢献することの喜びを知って戴きたいと思えます。当ステーションの理念の下に、切磋琢磨して参ります。

利用者様とはご縁だと思ひ、ご縁で繋がっている方への思いやりやおもてなし、そして、寄り添う事は当然の事と捉えています。自分の家族なら、自分ならどうして欲しいかは勿論ですが、利用者様の「思い・ご意向」を引き出し、寄り添う事を大切にしております。些細でも「希望を持って生きる」事を一緒に考える事からのスタートです。小さな小さな訪問看護ステーションですが、地域の中でお陰様でお役に立ててありがとうございます、と感謝の初心を忘れず、他職種とのネットワークの中で、利用者様、ご家族様の笑顔が見られる様に、笑顔で訪問できる様とプロとしての知識やスキルアップに研鑽して参ります。一度しかない人生、何処で生活していても自分らしく生きられる環境や世の中でありませう様に祈念しております。本年度も新入社員と共に、地域で暮らすお一人お一人の療養生活を支えられますように、地域連携の一員として、おもてなしの心に磨きをかけて参ります。今回はvol.31でご紹介した方の続きで「今大切な事とは？」の事例です。ホームページ『ネットワーク訪問ナースステーション』で検索すると、一番上に出てきますので、是非覗きにきてくださいね(橋井)

R様70代後半女性 要介護2 認知症軽度あり。完全房室ブロック、ペースメーカー心筋症、心不全、子宮頸癌術後、癒着性腸閉塞術後。両下肢浮腫著明。認知症夫と二人暮らし、同マンションに長女家族在住。近隣に次女宅あり、介護力は充足している。両下肢浮腫著明で体重増加みられ、急遽大学病院受診。心不全で入院となった。入院中からうつ状態になり、不安や自殺企図を訴えるようになる。食思不振で退院後は摂食障害で体重激減、利尿剤も内服していたが、内服拒否。受診拒否で、ご家族は叱咤激励するため、激怒して引き籠るようになった。「生きているのが辛い。このままご飯食わないで何日で死ぬのか」と頻回に言うようになった。家族も疲弊し、辛いと発するようになった。顔色悪く覇気もなく、小声で、常にため息をついて不眠状態。ケアマネさんと相談して、今は精神科の治療が第一優先。病院に行かないというのであれば、精神科の訪問診療を早々に介入して戴く為に、訪問してくれるクリニックを急いで探し、訪問して頂いた。訪問看護師も診察時には同席させて戴き、ご本人に寄り添い安心を与え、苦痛を取って貰う事を説明した。まず、痛みと不安を取り、眠れるように内服することにした。徐々にではあったが、笑顔が出てきて、食事もとれ、室内で活動できるようになった。循環器疾患で、大学病院受診は必須と思われたが、訪問医が大学病院主治医と連携し、情報提供し内服薬処方も出来た。足の浮腫は極度に減少したが、ADL低下はあり、歩行困難状態は続き、訪問看護師と会話をしながらリハビリを開始した。ご本人は全く変わらないという。先日、「お庭の花がきれいに咲いていますね」と話すと「見ていないから」と返事。翌週訪問時に、「お庭の花がきれいに咲いたから帰りに見て言って頂戴」との事。全く外出はできないが、外を眺めるようになった。顔色良くなり、動きも良くなり、入浴した。北国の氷が解けるように、春はもうすぐそこに来ているのかもしれないと思った。全身を同じクリニックで診て戴き、浮腫性の皮膚炎も緩解した。かかりつけ大学病院の医師の指示に従うものと思ひ込んでいましたが、単純に柔軟に、ご利用者の訴えを解決する方法は？と考えることの重要を再確認しています。固定概念に捕らわれないこと。地域の資源を地域に浸透させ、ご利用できるようにお手伝いして参ります。



神経難病、認知症、精神疾患、がんターミナル、看護師によるリハビリ等を特に得意としております。悩んでいるご利用者に医療相談や訪問看護お試しサービスを無料で行っております。お気軽にお問い合わせください



**訪問地域** **その他の地域もぜひご相談ください！**  
世田谷区  
松原・代田・代沢・豪徳寺・梅ヶ丘・宮坂・経堂・赤堤  
杉並区  
永福・和泉・浜田山・下高井戸

〒156-0043  
世田谷区松原2-41-15エテルノ明大前203  
ネットワーク訪問ナースステーション  
TEL:03-6762-2272  
FAX:03-6767-3703  
03-6379-0684

